

# いんぎん新報

刊日五十月十  
新代休廣印編  
聞價刊告料刷刷人  
一 日 五 所 小  
月 曜 拾 號 野  
金 部 錢 場 平  
五 金 指 二 活  
拾 五 定 字 版  
五 拾 拾 一 行 所  
錢 錢 拾 拾 四 行 發  
〇三路小チワイ 町平野高橋  
社信通城警 所行發  
番五六四話電

## 平信託の増資計画

石城財界の双壁たる警城銀行、並に平銀行に次ぎ古き歴史を有する平信託株式會社は斯界の先覺者として其發達實に長足の程度を示し今日の域に到達した事は、他に類例のなき發展である

## 東京流れの人達で平町の人口増加

東京地方震災によつて各地へて来た一而して之れに流れ出した罹災者は前居と一方左なきだに、住人口の約三分二を傳へら

### 貸家拂底 家主横暴

當局取締の要あり

### 大車輪

に勉めてゐる

### 極度の逼迫

商人の取調等に心を致して

### 産業組合が呼應して

震災救済の方策

### 供給品は食料衣類と材料

本郡役所調査開始

### 緊急事

である此の秋

### 迅速に

取運ぶ必要上

### 小名區長會

小名濱町にては今日午前

### 此種投稿募集

の告知をす。

## 政戦の跡を眺めて (四)

在小名濱 小野 生

玉川村の地形は小名濱とは對人的感情問題から来た替此の結束は見られぬと此一層齒轉車の離れ難き親密な否の程度が熾烈に鹿島の如言を聞く毎に玉川村の將來關係を有する地點である事却々に解け難き確執で如斯故かなれば村の行動は村の小名濱から出馬する縣會選舉の場合などに能く其鋒立脚しては村將來の福利の關係を離れて考ふる時現實長派に反對すると云ふ意氣爲めに尤も適當な人物を舉に一致の歩調が必要である路を露骨になつて來る様なげようとする事が先決問題と云ふ事に歸するのである譯けて最初の計畫通りに結んでなくならぬ、然るに村は元老の諸氏が奔走した關しては沒常識の分子も兩立する様では眞の結束が伊之助、宮内虎之助、野崎意思はれる、何れも角二百十票に對し百五十票を勝ち得た事は見事な結果である爲めに百年の志計を誤りな衝に當つて結束を固めた元急の事にして此の際當局は嚴重なる調査の許に不當家賃の引下げを斷行して欲しいものであると云ふ聲が高まつてゐる。

## 豚コレラ蔓延

本郡内各地に發生

既報一 本郡内各地に發生した豚コレラは益々蔓延の兆あるので平署は極力豫防法に腐心してゐる折柄四日平町堤之内大和五平次所有の豚九頭、大塚武雄宅の三頭大塚駒太郎の頭が何れも罹病し五日朝に至りて小名濱町川義正方外一名所有の三頭も罹病したる外各地に發生し頻々として病亡してゐるが該病に對する豫防薬は血性注射のみであるの根絶し平町に於ては唯徒手傍觀の外なく爲めに内務省出鱈目を並べお世辭を言へ提灯を持ち、お太鼓を叩き煽動であげ祭りあげけしか達せぬ時は罹病豚は全部撲殺する方針であると

## 電報は無制限に

平局小包取扱開始

受取人の居所判然したもの

未だ再達の便宜はなし

遭難慰靈祭

石城郡神職會主催となり來る九日午後二時より松ヶ岡公園に於て京濱地方震災遭難死者の慰靈祭を執行する筈である。

## 小名區長會

小名濱町にては今日午前九時より町役場に區長會を開き諸般の協議を遂げ十二時散會した

## 此種投稿募集

の告知をす。

## 遭難慰靈祭

石城郡神職會主催となり來る九日午後二時より松ヶ岡公園に於て京濱地方震災遭難死者の慰靈祭を執行する筈である。

## 小名區長會

小名濱町にては今日午前九時より町役場に區長會を開き諸般の協議を遂げ十二時散會した

## 此種投稿募集

の告知をす。

## 遭難慰靈祭

石城郡神職會主催となり來る九日午後二時より松ヶ岡公園に於て京濱地方震災遭難死者の慰靈祭を執行する筈である。

## 小名區長會

小名濱町にては今日午前九時より町役場に區長會を開き諸般の協議を遂げ十二時散會した

## 此種投稿募集

の告知をす。

## 讀むべし

何事でも痛快に素破抜

## 書簡用語

拜啓と書き出し謹啓を冒

## 此種投稿募集

の告知をす。

## 遭難慰靈祭

石城郡神職會主催となり來る九日午後二時より松ヶ岡公園に於て京濱地方震災遭難死者の慰靈祭を執行する筈である。

## 小名區長會

小名濱町にては今日午前九時より町役場に區長會を開き諸般の協議を遂げ十二時散會した

## 此種投稿募集

の告知をす。

## 遭難慰靈祭

石城郡神職會主催となり來る九日午後二時より松ヶ岡公園に於て京濱地方震災遭難死者の慰靈祭を執行する筈である。

## 小名區長會

小名濱町にては今日午前九時より町役場に區長會を開き諸般の協議を遂げ十二時散會した

## 此種投稿募集

の告知をす。

## 遭難慰靈祭

石城郡神職會主催となり來る九日午後二時より松ヶ岡公園に於て京濱地方震災遭難死者の慰靈祭を執行する筈である。

## 小名區長會

小名濱町にては今日午前九時より町役場に區長會を開き諸般の協議を遂げ十二時散會した

## 此種投稿募集

の告知をす。

## 遭難慰靈祭

石城郡神職會主催となり來る九日午後二時より松ヶ岡公園に於て京濱地方震災遭難死者の慰靈祭を執行する筈である。

## 小名區長會

小名濱町にては今日午前九時より町役場に區長會を開き諸般の協議を遂げ十二時散會した

## 此種投稿募集

の告知をす。

# 震災後平町の 物價は保合の姿

## 砂糖の値上げ遺憾だが 其の他は漸落の兆

東京震災によつて大なる變調を懸念された平町の日用品物價は當局並に各自の警戒と商人の反省によつて僅かに事なきを得たが各戸臺所の必需たる砂糖が去月二十日より全然

**姿を逸**した事は甚だ遺憾であつて米價の漸落歩調は今月に到つて更に一石參拾六圓と示して居るのは心地よい其他は木炭の季節柄幾分上値を示して居るのはいはむを得ざるもので殘餘の日用品は概して保合である

# 平署犯罪數

**選舉月の** 平署に於ける九月中に取扱つた刑事事件の件數を聞くと犯罪件六十五件にして之の檢舉四十五件三十四人と云ふ數を示してゐる而して之れを昨年同様に比較すると犯罪件に於て三十四檢舉件三十五人員三十六名の減少を見たが是れは縣會議員選舉等もあつたので活潑方針がその方面に傾いた結果勢ひ減少したものである

# 地震の祟り

**荷車遁走の件** 震災の祟りはミキの泣き聲にも現はれてゐる……ささい極言される程、事毎に吾人日常の生活に及ぼす處頗る甚だしいが今それを證據だてる適切なエピソードを御紹介しよう……恰度三日の事本社の一社員が家越しをするに當り公園下の會川と云ふ貸車庫から壹臺を借り荷の積み下し中奇怪不明になつた——スワダ先ず家越しは辛くも済ませたが借りた車を辨償せねばならぬと云ふので其の一晚市中を探し廻り明けて四日の夕刻

# 本郡の檢定試験人

校では、來七日、二、三、四、五、六學年、長子方面へ又大浦尋高校では十四日午八時より同校校庭に於て同校同村青年團、處女會の聯合秋季陸上運動會開催

總計九十一人

(高等科正教員)十六人  
(尋常科正教員)十一人  
(學科正教員)裁縫五、商業一、農業一、圖書一計八人  
准教員五七人計九十一人

# 立花家祖母逝く

小名濱町會議員にして消防副組頭たる立花典次郎氏の祖母シユン子史は東京小石川の別邸に於て病氣加療中の處今回逝去したので明後七日午後二時小名濱町の佛式により葬儀を執行する

に至つて見當らず結局の應急対策と先ず警察署に届け出ようとする頃不思議な事に件の車が胡摩澤方面を宇呂付いてゐる——と云ふ注進があつたので此の謎の經過を探つて見ると目下石城佛敎布教團が震災地に給與する衣類を募る爲め數臺の車を挽いて市中を廻つてゐる處が——その即ち車を引く人足が少々定評ある白〇男の處から向きに構はず件の空車を引出し同行の坊さんも氣が附かず「罹災民救護の旗を立て流して市中を練り歩いてゐた事」判つたが震災の影響はこうした少々な家越しにまでも及ぶと云ふ御手柔かに願ひます

若し不服なら何時でも御止め下さい云ふ素破らしい勢い他館は押して知るべしだ活動常設館は徐上の如き不況の中に獨り聚樂館に連夜満員の盛況は木戸鏡の張らない故もあらうが罹災民に對する町民の同情？

小名濱町三「時子」と銘打つて御披露目申す美形は平町五丁目二十番地に初聲を擧げた本名片寄美代子さんと申し明治三十八年三月二十五日生れとあるから今年十九の中厄年此の間まで茨城縣松原町中野スエ方で左裙を取つた腕に覺いのある姐ちゃんを御手柔かに願ひます

不景氣風は遠慮會釋もあらばこそ、到る處を吹き捲つて茲興業界に於ては殊に甚だしい秋の夕暮、斯界の權威だつた平館も此の大勢は如何ともする事が出来ぬらしく西洋物は當分上場出來ぬとの理由の下に減員にいく代の後かいらせん

現 實 鈴蘭草 月は木の間にさゆれども思ひは曇る秋の夜に人の行未定めなくきのふは東けふは西流れわたりの旅がらすそれにも似たる兄君を思ふ心は清ゆやらず涙のつゆの玉のをに哀れをそふる蟲の聲

未 來 身にはつづれ纏ても容貌は常にすくけてもみさををかたく守りつつうき世のわざと遠ざかり招く尾花も打すててこのりの世をば安らかにしづかに歸へる君が身をいく代の後かいらせん

平町字田町 電話二一四  
**磐城病院**

平町字田町 電話五一三  
**高久病院**

平町字南町 電話二〇七  
**松村病院**

平町字田町 電話四七五  
**赤心堂病院**

御料理 親切本位  
**川歌**  
町田新

平町二丁目  
**三**  
店物きは  
番六五一話電

酒は！  
**鶴仙**  
醸造元松吉屋本店  
石城郡平窪村  
電話二四一番

**讀者各位に謹告**  
紙面擴張の計畫  
本紙が創刊して一週年餘其間讀者各位の深甚なる御同情によつて漸く基礎の確立點に進みつつあるは之れ偏に各位が御聲援の賜と感銘仕り候然して此際本社百尺竿頭一步を進め紙面の擴張「四六四分」と俱に販路の擴大を計畫し各地との通信連絡並に販賣店の設置其他の爲め目下總動員を以て準備に忙殺されおり候間暫時紙幅の窮屈を御憐察の上擴張實現の日を御期待下さる様豫めお願申上候 敬具  
大正十二年十月 いわき新報社

**大哲人！豫言者**  
**アビル** 來る  
迷へる人よ來つて此の神秘的な天來の聲に聞け!!!  
ありふれた易斷ではない  
哲學上よりの豫言である  
場所 平町紺屋町炭屋旅館内

**アビル後援會**  
期日 十月四日ヨリ一週間(自午前十時  
鑑定料 一件 壹圓以上(至午後十時

祖母シユン儀東京小石川の寓居に於て病氣加療中の處藥石効なく遂に死去した候就て葬儀は七日午後二時自宅出棺當町地福院に於て佛式に依り相營可申候  
十月五日 石城郡小名濱町  
嫡孫 **立花典次郎**  
外親戚一同